



2024年10月16日

各位

ENEOS株式会社

京都中央信用金庫、安田産業との廃食油の活用について ～航空燃料の原料への廃食油再活用に関する基本合意書の締結～

当社（代表取締役社長：山口 敦治）は、京都中央信用金庫（理事長：白波瀬 誠）および安田産業株式会社（代表取締役：安田 奉春、以下「安田産業」）と、廃食油を持続可能な航空燃料（以下、「SAF」）の原料として活用する取り組みに関する基本合意書を締結いたしましたので、お知らせいたします。

2024年10月16日（水）より京都中央信用金庫 久我支店において専用リターナブルボトルを使用し、家庭系廃食油の回収を開始します。久我支店においてお預かりした廃食油は、将来的には、当社が事業化を進めるSAFの製造プラント（和歌山製造所：和歌山県有田市、能力：40万キロリットル／年）で原料として使用する予定です。今後、廃棄物の処理および資源物リサイクルを行う安田産業の有するノウハウと、京都中央信用金庫の店舗網を活用した回収網の拡大についても、検討してまいります。

当社は、グループ長期ビジョンに掲げる、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向け挑戦しています。その一環として、SAFの原料調達・自社製造・販売まで一貫体制の構築を進めており、SAFの製造に必要な廃食油や植物油を持続可能な形で確保するため、国内および世界にて、未活用の廃食油回収に向けた取り組みを多くのパートナーと協力し推進しております。

以上

【廃食油活用の流れ（イメージ）】

